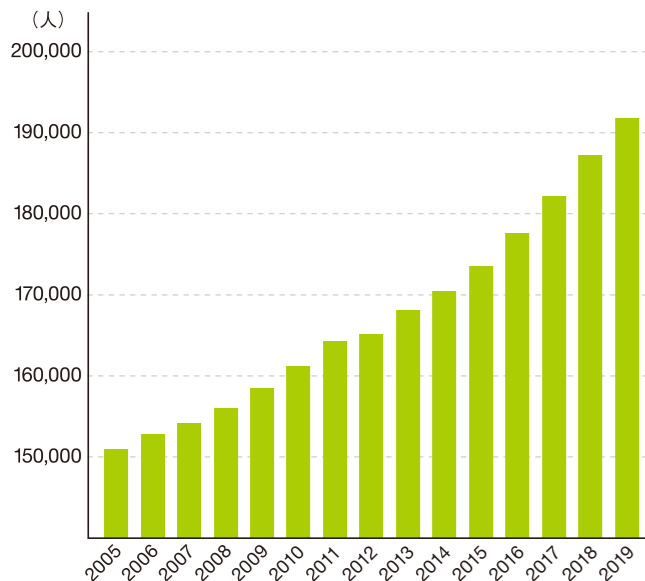
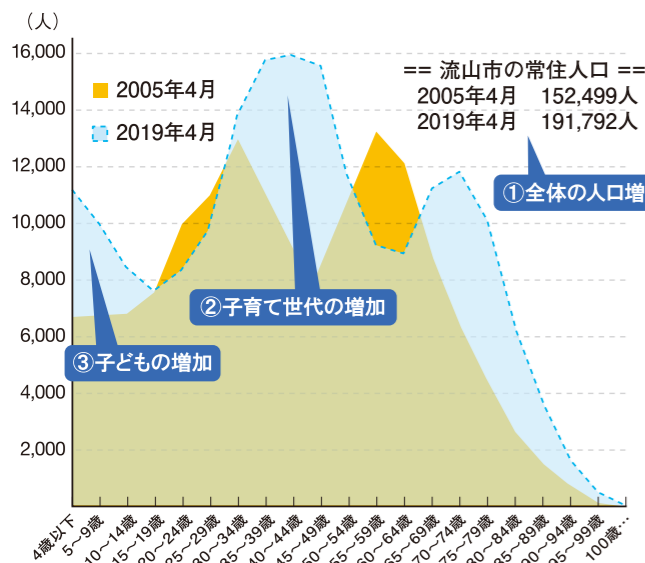


■人口の推移 (4月1日の住民基本台帳人口)

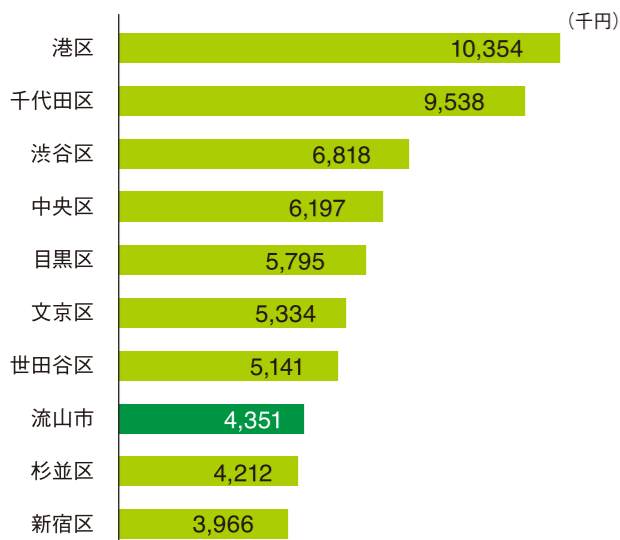


■人口の年齢構成の変化 (2005年と2019年の比較)



■一世帯あたりの課税対象所得額

(東京都特別区との比較)



東洋経済新報社「地域経済総覧2015」よりデータ引用

これからも
流山市は成長し続けます。
事業進出をご検討ください。

都心から
一番近い
森のまち

流山市
Nagareyama City

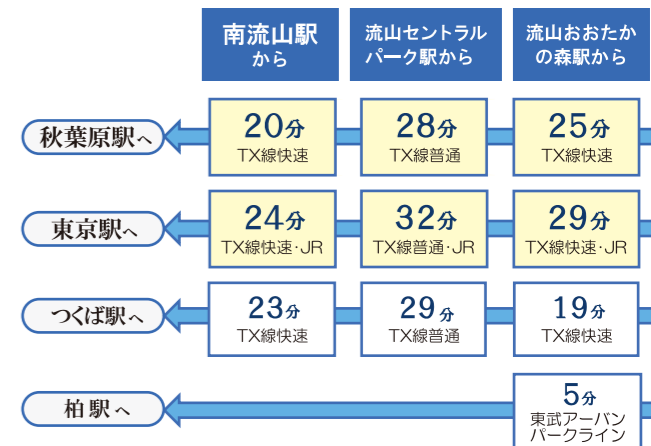
流山市役所 商工振興課 誘致推進室
 〒270-0192 千葉県流山市平和台1-1-1
 TEL.04(7150)6085 FAX.04(7158)5840
 E-mail yuchi@city.nagareyama.chiba.jp

令和元年10月作成

流山市企業進出ガイド

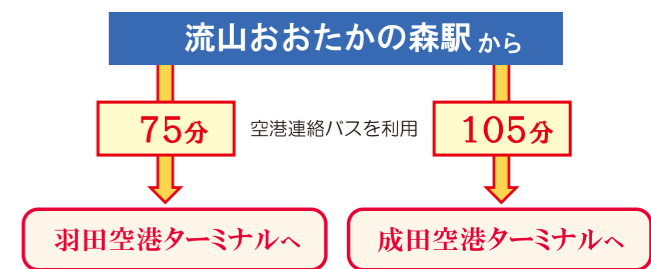


■主な駅までの所要時間

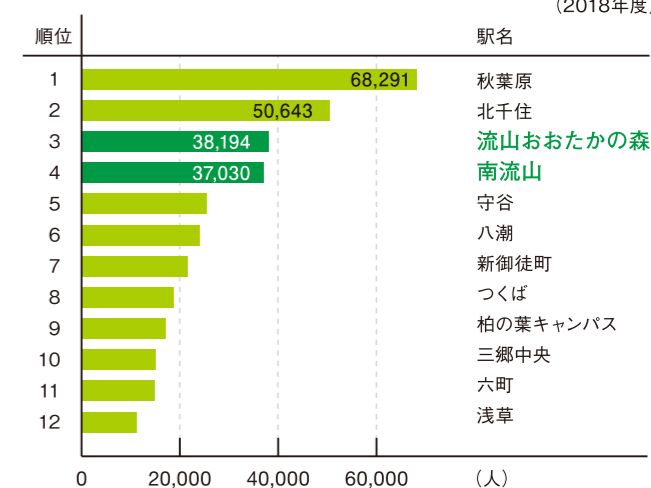


「TX線」：つくばエクスプレスの略称

■空港までの所要時間



■つくばエクスプレス1日平均乗車人数ランキング (2018年度)



■恵まれた道路環境



..... 事業中及び調査中

恵まれたビジネス環境

恵まれた交通アクセス

『都心から一番近い森のまち』流山市は、つくばエクスプレスを利用して都心へ最短20分とアクセスに優れたまちです。また、東武アーバンパークライン、JR武蔵野線の利用により、千葉県内、東京都内、埼玉県内の各都市への移動もスムーズです。



都心まで20分

常磐道「流山IC」を利用して、首都高速「箱崎IC」まで約25分、外環道「三郷JCT」まで約5分、圏央道「つくばJCT」まで約20分と首都圏各地へ快適に移動できます。



常磐道 流山IC付近

流山おおたかの森駅には、羽田空港及び成田空港とを結ぶ空港連絡バスも発着しており、首都圏を超えるビジネス環境が整っています。

資器材の調達、商品の配送、取引企業への訪問、従業員の通勤の利便性といった事業の発展に不可欠な交通アクセスの面では、申し分のない立地環境にあります。

市場としての価値と人材の確保

各地で人口減少が進む中、流山市では、つくばエクスプレス沿線開発を定住人口の増加のチャンスと捉え、『母になるなら、流山市。』として子育て世代をメインターゲットとしたシティセールスと良質な住環境の整備を進めてきました。その結果、「住んでみたい」「住み続けたい」と思える街並みが整い、子育て世代を中心に転入者が絶えることなく、人口増加が続いています。



家族連れで賑わう駅前広場

更に流山市は、市民の平均所得が高く、消費の伸びを示す消費指数が高いといった特徴があります。このため優良住宅関連事業、大型ショッピングセンターが進出しています。

このように比較的若い世代を中心とした増加が続いており、需要の拡大と発展が続く流山市は、優れた消費地であると同時に事業に必要な人材が多く暮らしています。

マックスプル工業株式会社【手動・電動ウインチの製造販売】

流山工業団地（西深井）に本社・工場を立地（2015年）



小野幸一代表取締役社長

流山市への本社移転を決断した要因は、弊社の宝物である社員と協力会社様がいる葛飾区から遠くなく、商品発送に必要な道路交通の利便性に優れ、適正な用地規模と健全な環境が整っていたことでした。

本社を移転したことにより、企業立地奨励金の交付を受けることができ、新製品開発のプロジェクトに活用し、より良い新製品を送りだそうと一生懸命研究開発をしています。

流山市への本社移転後に5名の採用に成功しました。うち3名は平成世代です。これは流山市が少子高齢化・労働人口の減少といった社会情勢の到来を早くから見極め、『母になるなら、流山市。』とシティセールスを進め、子育て世代に対する施策に重点を置いた結果です。

若い世代が定住している街に企業が立地するということは、優秀な社員を獲得する機会を多く得ることができ、経営の安定にも直結します。

ディップソール株式会社【金属表面処理剤の開発製造販売】

おおたかの森西にテクニカルセンターを立地（2013年）



井上学取締役本部長

テクニカルセンターの候補地の条件は、地盤が良く、地震に強い、洪水等の恐れのない場所で、なおかつ研究スタッフが継続して勤務しやすい環境、交通の利便性、地域の将来に向けての発展性に優れた場所としていました。

つくばエクスプレスの「流山おおたかの森駅」は、経済の中心地である都心と高度な研究施設が充実しているつくばの中間にあり、弊社が利用する国の試験研究施設と本社のある都心へのアクセスに優れていて、好適地だと判断しました。

また、住環境の整備も進み、スタッフが居住するにも好条件がいくつも揃っています。

つまり、「研究の促進と研究スタッフの生活を両立できる魅力的なまち」それが流山市だと思います。

奨励金が支給されるということも移転先の選定にあたっては重要なファクターの1つでした。交付を受けた奨励金は、製品開発に必要な試験機器の調達に充当し、結果として当社製品の性能グレードを高めることにつながりました。



【Human Performance Center】特定非営利活動法人 NSCAジャパン

【ストレングス&コンディショニング（国民の健康とアスリートの競技力向上）の教育普及事業】
前平井（流山セントラルパーク駅西口）にトレーニング研究施設を立地（2017年）

NSCAジャパンの「Human Performance Center」は、流山セントラルパーク駅前に立地しています。近くにはキックマンアリーナ、総合運動公園があり、市の「スポーツ活動エリア」の中心地であるこの場所こそ、私たちが進める研究に基づく安全で効果的なトレーニング指導の開発を全国に発信していく拠点の適地と考え、東京都港区から移転してまいりました。

都内から移転した当初は、会員やトップアスリートといった利用者のアクセス面での懸念がありましたが、「都心からも近い。」「落ち着いた環境で快適なトレーニングができる。」といった声をいただき、大変満足しています。

流山市は、『都心から一番近い森のまち』というコピーのとおり、緑豊かな自然と街が調和し、都心にはない魅力のある街です。新しく事業地をお探しの方は、まずは流山に来てみてください。

【Barn & Forest 148】株式会社C・B・H

【ブライダル対応レストラン、カフェ営業】
おおたかの森北に店舗を立地（2017年）



小幡武彦店舗開発室長

「Barn & Forest 148」のある流山市は、都心からのアクセスに優れていながら、都市と自然が共生する、まさに理想的な街だと思います。

これからさらに都内や茨城への道路網が整備されますので、ますますアクセスの良さが光る街として発展が期待でき、弊社も結婚式やレストラン、カフェ、保育園などを通じて、流山おおたかの森の街づくりをお手伝いし続けたいと考えています。



Barn & Forest 148 チャペル

今は若い世代の流入ばかりがクローズアップされがちですが、実は地元の方々のネットワークがとても強力です。事業を進めるにあたっては、誘致推進室の皆さまをはじめ、いろいろな方々へのご相談や、サポーターとしてご協力いただける関係性が築けることは、事業の成功の鍵を握る大きな武器といえるのではないでしょうか。

流山市の優遇制度

該当業種：総合工業の事業所、製造業の工場、情報通信業の事業所、バイオ・ナノテク・ロボット等の先端技術関連の事業所、産科及び小児科のクリニック

◆企業等立地促進奨励金

該当業種の企業等が立地した場合に固定資産税及び都市計画税相当額を5年間交付。＊本社機能を有する場合は7年間交付。
[要件] 投下固定資産額が1億円以上。常時雇用従業員数が10人以上。税を完納していること。
※事業所が賃貸の場合も対象。ただし、製造業の工場は除く。

◆立地企業等協力金

該当業種の企業等に土地又は建物賃貸する所有者に対して土地、建物及び償却資産にかかる固定資産税及び都市計画税相当額を3年間交付。
[要件] 税を完納していること。

◆雇用奨励金

該当業種の企業等が立地に際して流山市民（本市に住所を有する期間が1年以上）を5名以上常時雇用した場合に、従業員1名につき20万円（限度額600万円）交付。1回限り。

◆環境配慮型設備設置費助成金

該当業種の企業等が立地日までに、太陽光発電設備又は雨水利用設備を設置した場合、能力、容量に応じて助成金（限度額100万円）を交付。1回限り。
[要件と金額]
太陽光発電：発電能力10kw以上の設備。1kwあたり5万円を乗じた額。
雨水利用：有効貯水量5m³以上の設備。1m³あたり5万円を乗じた額。

自然災害のリスクが低い

日本はあらゆる自然災害が起きやすい国です。事業を展開するにあたっては、災害への備えが必須項目となり、災害に強いまちや土地を選ぶことが大切です。

流山市は東日本大震災の際に、建物の全壊・半壊、液状化現象といった被害はなく、既存の市内産業に滞りが生じることがありませんでした。

また、市の大部分が標高10～20メートル程度の小高い台地で覆われているうえに、インフラ整備により雨水排水管整備、調整池の設置が進んでおり、工業用途・商業用途地域において、台風やゲリラ豪雨による浸水被害は生じていません。

そのほか、都市軸道路や都市計画道路などの道路整備により、渋滞や事故の原因となる狭隘な道路の解消が進んでいます。



安心安全に欠かせないインフラ整備

「まち」をブランドに

『都心から一番近い森のまち』流山市は、まち自体がひとつのブランドとなることを目指しています。10年後、20年後も働きやすく、住みやすいまちであるように緑と生態系を守り、安心安全なまちづくりを目指しています。

流山市は、緑豊かで美しい都市空間をつくることへの取り組みが評価され、緑の都市賞「緑の都市づくり部門」国土交通大臣賞を受賞しました。

森の木々と生態系を大切にし、地球温暖化やヒートアイランド現象を防ぐために『流山グリーンチェーン』のプロジェクトを推進しています。

流山市は、これからもまちの価値を高めてまいります。



緑が豊かな都市空間